



東京都は、「東京都平和の日条例」で、3月10日を「東京都平和の日」と定め、平和の意義を確認するとともに、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施しております。

令和6年度は、令和7年3月10日、東京都庁において「第35回東京都平和の日記念式典」を開催いたしました。

記念式典の冒頭に東京大空襲をはじめ戦災で亡くなられた方々を追悼し、世界の恒久平和を願って黙とうを行い、厳粛な雰囲気の中で式典が執り行われました。

式典に引き続き、東京都交響楽団による記念演奏を行い、「追悼と平和への祈り」の気持ちを新たにしました。

また、記念行事の一環として、千代田区役所、せたがや未来の平和館(世田谷区立平和資料館)、多摩市立永山公民館ベルブ永山、羽村市役所において、「東京空襲資料展」を開催いたしました。

本報告書は、今回の東京都平和の日記念行事についてまとめたものです。

本書が平和の大切さを確認していただくための一助となれば幸いです。

結びになりますが、今回の東京都平和の日記念行事の実施にあたり、御協力をいただいた皆様に心から御礼を申し上げます。

令和7年3月

東京都



目次

はじめに	1
第一章／記念式典	3
概要	4
主催者挨拶 東京都知事 小池 百合子	6
東京都議会議長 増子 ひろき	7
来賓挨拶 駐日外交団代表	8
駐日アフリカ外交団長 駐日カメルーン共和国特命全権大使 ピエール・ゼンゲ閣下	
東京空襲被災者代表 丹後 省三様	10
式典風景	12
記念演奏	15
第二章／普及啓発	19
告知	20
第三章／関連事業	27
東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑	28
「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」花壇デザイン画募集	29
東京空襲資料展	34
東京空襲資料展 チラシ	36
東京空襲資料展 展示品一覧	38
東京空襲写真パネル展示	44
第四章／資料	45
アンケート用紙	46
アンケート集計結果	47
東京都平和の日条例	56
東京都民平和アピール	57



第一章 記念式典





概 要

第35回東京都平和の日記念式典

日時 令和7年3月10日(月)
午後2時～午後3時15分

場所 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場

プログラム	午後1時00分	開場・受付
	午後2時00分	記念式典
	午後2時30分	休憩
	午後2時45分	記念演奏

※インターネット中継（東京動画）を実施

式次第

＊ 黙とう

＊ 国歌斉唱

＊ 主催者挨拶

東京都知事
東京都議会議長

小池 百合子
増子 ひろき

＊ 来賓挨拶

駐日外交団代表

東京空襲被災者代表

駐日カメルーン共和国特命全権大使
ピエール・ゼンゲ閣下
丹後 省三様

Memorial Ceremony Program



The 35th Tokyo Metropolitan Peace Day Memorial Ceremony

■ **Date and time** Monday, March 10, 2025 2:00PM - 3:15PM

■ **Venue** Tokyo Metropolitan Government Building No.1
5th Floor, Main Conference Hall

■ **Program** 1:00PM Open
2:00PM Memorial Ceremony
2:30PM Intermission
2:45PM Memorial Concert

※ Live broadcast on the Internet
(Tokyo Metropolitan Government Official Video Channel)

Memorial Ceremony

Silent Prayer

National Anthem of Japan

Greetings from the Organizers

Governor of Tokyo

KOIKE Yuriko

President of the Tokyo Metropolitan Assembly

MASUKO Hiroki

Messages from the Distinguished Guests

Representative of the Diplomatic Corps in Japan

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of Cameroon

H.E. Dr. Pierre NDZENGUE

Representative of the Tokyo Air Raid Victims

Mr. TANGO Syozo

主催者挨拶



東京都知事

小池 百合子

本日ここに、御遺族の皆様、都民の皆様、御来賓の皆様をお迎えし、「第35回東京都平和の日記念式典」を執り行うに当たり、御挨拶を申し上げます。

先の大戦で東京は、度重なる空襲により、甚大な被害を受けました。昭和20年3月10日、下町地区を中心に襲った大空襲では、一夜にして10万人ともいわれる尊い命が奪われました。

空襲で焦土と化した、当時の悲惨な光景と、家族や友人を失った悲しみは、今なお、被災した方々の心の中に、深く刻み込まれています。

犠牲となられた方々の御無念と、御遺族の皆様の御心痛に思いを致しますと、改めて戦争の残酷さ、悲惨さを考えずにはおられません。

今日の平和と繁栄は、多くの尊い犠牲と御遺族や被災された方々の苦難の歴史の上に築かれたものでございます。戦後80年の時を経て、戦争を経験したことがない世代が社会の大半を占めるようになった今、戦争の悲惨な記憶を、しっかりと語り継ぎ、平和の大切さを伝えていかなければなりません。

東京都は、平和の意義を確認し、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、3月10日を「東京都平和の日」と定めております。都立横網町公園内に祈念碑を建設し、その内部には「東京空襲犠牲者名簿」を納めております。

本年は、新たに94名の方々の名前を追加し、合計81,583名の方々が登載されました。

世界は、激動の最中にあります。他国への侵攻や、地域紛争、テロ行為などが絶えません。気候危機や自然災害が、この厳しい状況に拍車をかけます。難局を乗り越え、平和な世界を未来に引き継いでいくことは、今を生きる私たちの重要な責務でございます。

私は都知事として、日本の首都であるこの東京を、より快適で強靱な街に発展させていくとともに、誰もが自分らしく暮らせる持続可能な、希望あふれる都市へと進化させ、国際社会にも貢献することを、お誓い申し上げます。

犠牲となられた方々の御冥福と御遺族の皆様の御健勝、御多幸を心からお祈りし、御挨拶といたします。

主催者挨拶



東京都議会議長
増子 ひろき

本日ここに、ご遺族をはじめ、平和を願う都民の皆様とともに、第35回「東京都平和の日」記念式典を執り行うに当たり、東京都議会を代表し、ご挨拶を申し上げます。

幾多の悲しみをもたらした先の大戦が終わり、今年で80年の歳月が過ぎ去ろうとしています。

戦禍の中、多くのかけがえのない命が失われましたことは、私たちにとって、永遠に忘れることのできない深い悲しみであり、今なお、痛惜の念に堪えません。

東京は、度重なる空襲を受け、とりわけ昭和20年3月10日未明の大空襲では、一夜にして多くの尊い命が失われ、いたるところ焼け野原と化しました。

ご遺族の皆様のご心中を拝察するとき、万感胸に迫るものがございます。

今日、私たちが享受する平和と繁栄は、歴史に刻まれた、幾多の惨禍と、尊い犠牲の上に築かれたものであります。いかに時代が移り変わろうとも、私たちは、このことを決して忘れてはなりません。

一方で、世界に目を転じますと、依然として武力を伴う紛争が絶えず、平和を脅かす状況が続いています。

今こそ、国際的な相互理解と信頼関係をこれまで以上に深め、世界が直面する様々な課題に共に取り組み、平和な世界を実現していくことが強く求められております。

東京都議会は、あらゆる人々がお互いを尊重し合い、健やかに暮らせる社会を築き、未来永劫継承していくことが、犠牲となられた方々に対する私たちの責務であることを深く胸に刻み、今後とも、一層の努力を重ねてまいります。

結びに、戦災で犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、ご列席の皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げまして、私のご挨拶とさせていただきます。

来賓挨拶



駐日外交団代表
駐日アフリカ外交団長
駐日カメルーン共和国特命全権大使
ピエール・ゼンゲ閣下

知事、外交団の皆様、ご列席の皆様。

平和をテーマとしたこの重要な機会に、挨拶を申し上げるにあたり、光栄であると同時に、身が引き締まる思いでおります。

まず、小池百合子知事へ、在京駐日外交団を代表して、世界中の戦争犠牲者に祈りを捧げさせてください。彼らの魂が安らかに眠れますように。

今この世界では、ほぼすべての大陸と地域でさまざまな性質の地政学的緊張が高まる中、特に、対話、和解、外交、多国間主義を通じた平和の促進がこれまで以上に重要になっています。

国際平和と安全に対する脅威の増大が、多くの国の発展と私たち一人ひとりの幸福に悪影響を及ぼしていることは明らかです。

したがって、現在世界中で進行する紛争の傾向を抑制するには、すべての国と人々が手を携えて、平和へのさまざまな課題に全力で取り組む必要があります。

本日東京都が主催するこのような式典は、平和のために行動する必要性について認識を広める素晴らしい機会であると私は信じています。今年の平和の日記念式典を開催された知事に、改めて敬意を表します。

よりグローバルな観点では、国連が、対立や緊張を克服するのに最良の場であるとも確信しています。今日の現実と世界の構成をよりよく反映するよう適切に改革されれば、国連は、各国の発展、安全、ひいては平和を確保するという創設以来の役割を引き続き果たしうるでしょう。

知事、外交団の皆様、ご列席の皆様。

ご清聴ありがとうございました。

Messages from the Distinguished Guests



Representative of the Diplomatic Corps in Japan

Dean of the African Diplomatic Corps in Japan

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of Cameroon

H.E. Dr. Pierre NDZENGUE

Madam Governor, Esteemed colleagues of the diplomatic Corps, Ladies and Gentlemen.

I am honoured and humble to deliver a couple of greeting remarks on this important occasion centred on peace.

To start with, Madam Governor Koike Yuriko, allow me on behalf of the Diplomatic Corps in Tokyo to extend our prayers to all victims of wars around the world. May their souls rest in peace.

In today's world experiencing many geopolitical tensions of various natures in almost every continent and region, the promotion of peace particularly through dialogue, conciliation, diplomacy, and multilateralism is more than ever relevant.

It is obvious that the observed increase in threats to international peace and security is negatively impacting the development of many nations as well as the wellbeing of each one of us.

Therefore, to curb the current ongoing conflictual trend throughout the globe, there is a need for all countries and people to join hands and spare no efforts to address various challenges to peace.

I believe such ceremonies like the one hosted by Tokyo Metropolitan government today are wonderful opportunities to spread awareness about the necessity to act for peace. Allow me to congratulate Mme Governor for convening this year's Peace Day Memorial Ceremony.

At a more global level, I am also convinced that our common organisation, the United Nations, is the best place to overcome antagonisms and tensions. Indeed, if appropriately reformed to better reflect today's realities and world configuration, the UN can keep playing its founding role of ensuring development, security and hence peace among our nations.

Madam Governor, dear colleagues, Ladies and Gentlemen.

Thank you for your kind attention.

来賓挨拶



東京空襲被災者代表
丹後 省三様

皆さんこんにちは。ご紹介に賜りました丹後でございます。

私は5歳の時に、生まれ育った東京都世田谷区で焼夷弾による空襲を受けて自宅が焼失しました。その後、仮住まい先の神奈川県鵜沼に移住した後も終戦直前まで小型戦闘機から機銃掃射を受けまして、逃げ回った経験があります。

こうした出来事についてお話したいと思います。

私が生まれたのは西暦1940年、昭和15年4月、現在84歳です。

昭和20年5月25日に空襲に遭った時の家族は両親と15歳の姉、そして5歳の私と4人家族でした。住まいの場所は今の地名で言いますと世田谷区池尻、淡島通り沿いで父親が建具店を営んでいました。

5月25日の夜、空襲警報のサイレンが鳴り響く中で、親から外に連れ出されて空を見上げて驚きました。米軍のB29爆撃機が夜空一杯に覆っていたのです。それ以前にも頻繁にB29が飛んできまして、その都度サイレンが鳴って防空壕に身を潜めたりしましたが、その時はどうも偵察飛行という目的で飛んでいたらしいのです。そのため、爆撃されたことは一度もありませんでした。しかしこの日はまるで違う雰囲気でした。

よく見ますと飛行機から星のように光る物がまず落とされ、それと一緒に筒のような形をした細長い物体がシュルシュル、シュルシュル音を立てながら落下してきたのです。これが焼夷弾です。

焼夷弾は空中では爆発しないで、地上に落下するや否や激しい火炎が舞い上がって、近くにある木造住宅の外壁がメラメラ燃え出しました。

あっという間に町中が火の海に包まれ、自宅の隣の家が燃え出した時に親が慌てて姉と私に「二人で逃げなさい。」と言うのです。「自分たちは家に残ってバケツリレーで消火活動しないといけない、だから二人でこれを持って逃げなさい。」と言って渡されたのはヤカン一つでした。食糧でも何でもない、ヤカンです。

このヤカンの使い途は、道の途中にある防火用水から水を汲み、頭のでっぺんから足のつま先まで全身をずぶぬれにするための道具です。その時、既に頭上から火の粉が大量に降ってきて、黙っていると身体ごと燃えてしまうという危険があったので、途中で何回も何回も水を身体中にかぶって逃げました。

家から500メートルぐらい逃げた所で、前方に小川が見えたので、姉と一緒に二人でじゃぶじゃぶ川に入っていきまして、そこで夜を明かすことにしました。この川は今でも現存していますけれど、北沢川という川でして、川幅は



せいぜい1メートルから2メートルくらい、深さも子供の膝くらいまでしかない浅い川です。ですから、子供にとっても大変安全な川でした。避難場所としては格好の場所になりました。そして大人の避難者も近くに居てくれたので、非常に心強かったです。

夜明けまで川で過ごして家路についた途中で炊き出しの恩恵にあずかり、温かいオニギリをご馳走になりました。焼け跡で温かいオニギリを作って道行く人に配ってくださる方がいらっしゃいました。そういう任務が昔町会を通じてあったのかどうか知りませんが、大変ありがたい光景に出くわして助かりました。前夜から一睡もしないで何も食べずにへとへとに疲れていましたので、この時の温かいオニギリには大変勇気づけられました。

自宅近くへ戻って両親と合流し、家族4人の生存を確認できましたけれども、残念ながら自宅は完全に焼け落ちて、灰になっていました。

あとで親から聞いた話ですけれども、とにかく火の勢いが強すぎてバケツリレーで消火することはできず、途中で放棄して自分たちは安全な所へ逃げざるを得なかったと言っておりました。

そして、急に家を失った対策として、知り合いの紹介をいただき、神奈川県の高沼海岸駅の近くに建築中の家を借用し、家族4人で移住しました。世田谷で焼け出されて藁をもつかむ思いで移住したわけですが、ここでもB29とは異なる小型戦闘機から機銃掃射を受け、焼夷弾とは違う恐さを感じました。

パイロット一人か二人乗りくらいの小型機で、上空から地上の人影を見つけると容赦なく襲ってくるのです。空から急降下してダダダダと機関銃を連射しますので、地上にいる人達は一刻一秒を争って避難しなければなりません。私も外に居る時に襲撃を受けたことが何回かありまして、その度に地面のくぼみに身を伏せて難を逃れたことがありました。

この様な状況が2ヵ月程続き、8月15日の終戦を迎えてようやく銃撃から解放されました。その時父親から「あの飛行機はもう飛んで来なくなったよ、もう大丈夫だよ。」と言われ、ほっとした記憶が未だに頭の片隅に残っています。そして戦後間もなく高沼から世田谷区へ戻り、以前の家で戦後の79年を過ごしてまいりました。

この79年間は、皆さんのご努力を結集して戦後の復興を成し遂げ、自由と平和の社会を築いてきた大変貴重な時代でもあります。

これから先の時代を担う方々には二度と戦争の経験をさせてはなりません。

現在私たちが享受している平和と繁栄の社会を次の世代に確実に引き継いでいくこと、これが今を生きる私達の大切な役割ではないでしょうか。

その目標を達成するために私たちの心を一つにして頑張りましょう。

ご清聴ありがとうございました。

式典風景



会場全景



黙とう



東京都知事挨拶



東京都議会議長挨拶



在日外交団代表挨拶



東京空襲被災者代表挨拶



登壇者（主催者）



登壇者（来賓）

式典等風景



式典受付



会場（ロビー）



会場（舞台）

記念演奏



第35回東京都平和の日記念演奏 「追悼と平和への祈り」 ～東京都交響楽団メンバーによるアンサンブル～

日時 令和7年3月10日(月)午後2時45分～午後3時15分
場所 東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場
演奏 東京都交響楽団

プログラム

- ◆ J. S. バッハ : 主よ人の望みの喜びよ BWV 147
- ◆ クライスラー : 愛の悲しみ
- ◆ ハイドン : 弦楽四重奏曲第77番 ハ長調「皇帝」
Op. 76 No. 3, Hob.III:77 より
第1楽章
- ◆ 岡野貞一 作曲、いとうたつこ 編曲: ふるさと
- ◆ 團伊玖磨 作曲、飯吉高 編曲: 花の街



Memorial Concert Program



The 35th Tokyo Metropolitan Peace Day Memorial Concert
"Mourning and Pray For Peace"
By the Members of the Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

- **Date and time** Monday, March 10, 2025 2:45PM - 3:15PM
■ **Venue** Tokyo Metropolitan Government Building No.1
5th Floor, Main Conference Hall
■ **Performer** Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Program

- ◆ J.S.Bach : Jesu Joy of Man's Desiring from Cantata BWV147
- ◆ F.Kreisler : Liebesleid
- ◆ Haydn : String Quartet No.77 in C Major,
Op.76, No.3, Hob.III:77, "Emperor"
I. Allegro
- ◆ T.Okano : Furusato "My Home Town"
- ◆ I.Dan : Hana no Machi "Town of Flowers"



公益財団法人 東京都交響楽団 プロフィール

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。歴代音楽監督は森正、渡邊暁雄、若杉弘、ガリー・ベルティニ。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。

定期演奏会を中心に、都内小中学生のための音楽鑑賞教室、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、福祉施設への訪問演奏の他、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる“サラダ音楽祭”を開催するなど、多彩な活動を展開している。受賞歴に、第6回京都音楽賞大賞、第50回レコード・アカデミー賞〈交響曲部門〉、第25回ミュージック・ペンクラブ音楽賞クラシック部門「最優秀録音・録画作品賞」ならびに「最優秀コンサート・パフォーマンス賞」、第53回レコード・アカデミー賞〈特別部門:特別賞〉、第21回三菱UFJ信託音楽賞奨励賞など。

「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2015年11月には大野和士の指揮でヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈な喝采を浴びた。2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、《オリンピック讃歌》の演奏(大野和士指揮／録音)を務めた。

公式ウェブサイト <https://www.tmsso.or.jp/>

出演者

第1ヴァイオリン：蔭井 清夏

ヴィオラ：石田 紗樹

第2ヴァイオリン：海和 伸子

チェロ：高橋 純子

記念演奏

